

[シラス]

1. 経年経過及び平成16年4～5月期の漁況の経過

【西薩海域，志布志湾海域】

バッチ網漁業の漁獲量は，西薩海域では平成11年の6,060トン进行減少傾向を示しており，平成14年は1,106トン，平成15年は低調であった前年並みの937トン(一部漁協未集計)でした。志布志湾海域では平成12年の1,407トン进行減少傾向を示しており，平成14年は396トンまで減少したが，平成15年は842トンまで増加した。

今期は西薩海域では，カタクチイワシシラス主体で1,639トンの水揚げで，前年の619%及び平年の138%でした。

志布志湾海域では，カタクチシラス主体で408.4トンの水揚げで(一部未集計)，前年の115%及び平年の184%でした。

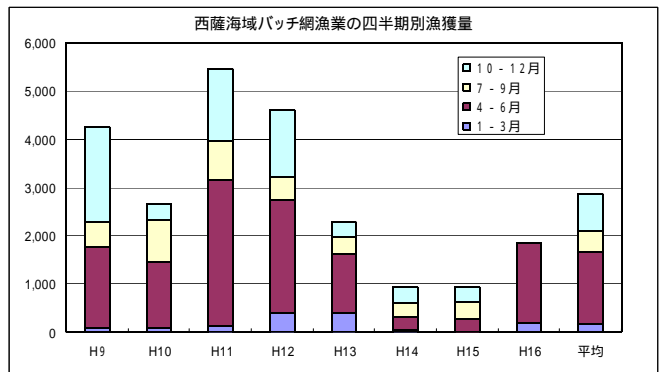
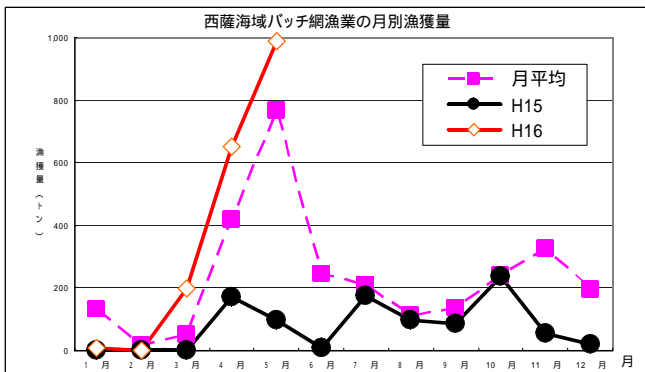


図 西薩海域バッチ網漁業の漁獲量変化(5漁協計)

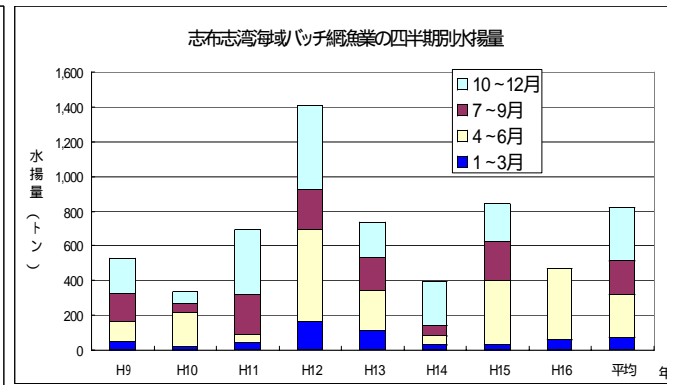
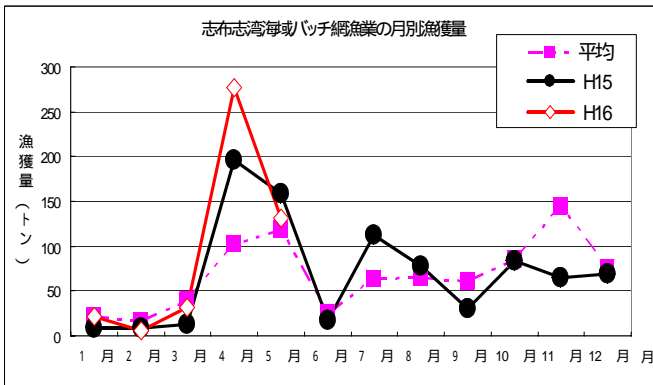


図 志布志湾海域バッチ網漁業の漁獲量変化(2漁協計)

平年値は過去5年(平成11～15年)の平均値，平成16年5月までの水揚げ量を使用。